

達成度

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

学校教育課の目標（平成20年度）自己評価書

学校教育課長 高野松男

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 町立学校の学校運営への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポート指導員を各学校に配置し、個に応じた指導を支援します。 ・介助員の配置等により、特別支援教育の充実を図ります。 ・ALTを派遣し、小学校の英語活動の充実を支援します。 ・学校評議員会議の充実を図り、開かれた学校づくりの推進に努めます。 ・地域の防犯ボランティア団体の協力を得るなどして、児童生徒の安全確保を図り、併せて安全教育を推進します。 ・学習指導要領の改訂に伴う移行措置について、学校への周知と適切な運用に向け支援を行います。 ・新しい教育課題（教育三法の改正に関すること、全国学力・学習状況調査、キャリア教育、食育、学校安全、情報教育等）に関する情報を収集し、学校への周知と適切な運用・活用を支援します。 	<p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酒々井小では教育相談、大室台小では特別支援、酒々井中では英語指導において、個に応じた指導の充実が図られた。 ・言葉の教室に通級する児童が多いため、その対応を検討する必要がある。 ・小学校の英語活動が高学年で必須になるので、ALTの派遣回数を増やしたり、教員の研修を充実していく必要がある。 ・各学校においては学校評議員会議の開催をはじめ、開かれた学校作りに努めている。 ・地域の方の協力等もあり、大きな事件・事故は発生しなかった。 ・小・中教委連絡会や教務・研究主任研修会、様々な通知等を通じて周知、支援を図った。 ・情報収集の機会が十分にもてなかった。
<p>2 酒々井町ならではの教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育むC.T.Sプラン事業補助金を交付し、各学校の特色ある教育活動を支援します。 ・人権・同和教育を各校の学校経営の柱の一つに据え、温かい人間関係づくりに努めます。 ・学校図書館支援センター推進事業に取り組み、学校図書館の充実に努めます。 ・教職員の特色ある教育活動支援事業補助金を交付し、教職員の創意工夫ある教育活動を支援します。 	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校においては、補助金を活用し、総合的な学習をはじめ様々な場で特色ある教育活動を行った。 ・各学校とも人権・同和教育を学校経営の重点に位置づけ、全体としては落ち着いた温かみのある人間関係が築かれている。 ・学校図書館アシスタントの配置等により、学校図書館の機能がより高まった。 ・新規事業のため、本事業に対する教職員の意識や取組の期間がまだ十分ではなかった。

<ul style="list-style-type: none"> ・町内3校という利点を生かし、小中連携を推進します。 ・社会科副読本リーフレットの活用と社会科副読本の改訂作業を進めます。 <p>3 教育相談事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校適応専門相談員の配置により、不登校対策の充実を図ります。 (長欠の出現率を抑え、長欠者の学校・学級復帰を支援します。) ・各学校の適応指導委員会に職員を派遣し、適応指導の共通理解に努めます。 <p>4 教職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研修を企画し、指導技術の向上に努めます。 ・教職員の綱紀粛正について、その指導に努めます。 ・目標申告制度と業績評価制度の適切な運営に努めます。 <p>5 教育条件の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品、学校図書の実態に努めます。 ・学校予算の確保に努めます。 ・酒々井小学校遠距離通学者のためのスクールバスの運行を行います。 ・新就学児童の防犯ブザー購入に際して、半額を補助します。 ・適切な就学援助に努めます。 <p>6 チャレンジ目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領(小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から全面实施)への円滑な移行に向け、各学校に対して情報提供、指導・助言を行います。 ・酒々井町小中連携推進協議会が進める「小中連携指導5項目」に掲げる児童生徒の姿(挨拶をすることができる 掃除をすることができる 時間を守ることができる 人の話を聞くことができる 自分の考えを話すことができる)を達成できるよう取り組んでいきます。 	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の面における連携も少しずつ進んできている。 ・社会科副読本編集会議を開催し、改訂に向けての計画を立てた。 ・長欠者の出現率が昨年度に比べ低くなったことは、大きな成果である。 ・各学校及び教育委員会が共通理解を図る大事な機会となっている。 ・計画どおり研修を実施し、参加者も熱心に取り組んでいた。 ・小・中教委連絡会で管理職に指導したり、全職員にレポート提出を求めたりして意識を高めた。 ・各学校において適切に運営された。 ・新学習指導要領の実施に向け、備品を整備していく必要がある。また、図書の整備も約70%で今後の課題である。 ・小・中教委連絡会、心の教育推進会議、教務・研究主任研修会、通知等で情報提供、指導・助言に努めた。 ・小中連携推進協議会や心の教育推進会議等で共通理解を図りながら、各学校で取り組んだ。
---	--	---